

発行所
宮城県交通安全母の会連合会
(〒980-8570)
仙台市青葉区本町三丁目8番1号
(宮城県企画部地域交通政策課内)
TEL 022-211-2438



会長挨拶

宮城県交通安全母の会連合会
会長 佐々木 和恵

はじめに、宮城県交通安全母の会連合会の皆様におかれましては、お健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、前年度に引き続き感染対策をしっかりと行っていただき、警察署員の方々の御指導の下、地域の実情に合わせ、創意工夫をこらした交通安全活動を展開していただいたことに頭の下がる思いです。改めて厚く御礼を申し上げます。

また、昨年度実施することができませんでした連合会主催のリーダー研修会は、宮城県地域交通政策課の御指導の下、県警交通企画課より御講話を賜り、各地区での活動発表や講評と、充実した研修会となりました。参加された皆様に深く感謝申し上げます。

さて、県内の交通情勢につきましては、交通事故が昨年と同水準で発生しておりますが、その中において高齢者が関与した死亡事故が依然として高い割合で推移しております。

つきましては、高齢者世帯への個別指導を通じて交通ルールやマナーの徹底と反射材を身につけ、自分の身は自分で守るという意識を高める啓発活動を今後も粘り強く進めて参りたいと考えております。

結びになりますが、「交通安全は茶の間から」をスローガンに、コロナ感染対策を行っていただき御活躍されますよう御祈念申し上げまして、挨拶といたします。

宮城県知事表彰受賞者紹介 (敬称略)

多年にわたる母の会の活動をはじめ交通安全活動への多大な貢献により知事から表彰されました。

文化の日表彰

交通安全功労

◇ 令和2年度

佐藤 喜久子 (気仙沼市) 熊谷 かつ江 (涌谷町)

◇ 令和3年度

佐々木 けい子 (美里町)

交通安全功労者等表彰

交通安全功労者

◇ 令和2年度

伊深 秋子 (名取市) 佐藤 美代子 (名取市)
鎌田 たみ子 (松島町) 鈴木 紘子 (松島町)
澁谷 美知子 (松島町) 川村 いつの (松島町)
由野 八重子 (利府町)

◇ 令和3年度

小野 和恵 (塩竈市) 太田 あや子 (名取市)
齋藤 基子 (多賀城市) 村上 トシエ (大河原町)
鎌田 裕子 (美里町)

宮城県交通安全母の会
連合会長表彰受賞者紹介 (敬称略)

多年にわたり、母の会の活動に従事し、交通事故防止活動に貢献された方が母の会連合会長から表彰されました。

◇ 令和2年度

鈴木 サカエ (仙台市) 堀川 恵美子 (石巻市)
阿部 豊子 (塩竈市) 小山 光子 (気仙沼市)
濱田 ヨリ子 (名取市) 渡邊 勝子 (多賀城市)
佐久間 富美子 (涌谷町)

◇ 令和3年度

斉藤 七子 (仙台市) 佐藤 諒子 (石巻市)
小野 和恵 (塩竈市) 布田 なみ子 (名取市)
蓬田 良子 (角田町) 大場 みどり (多賀城市)
高田 貞子 (登米市) 村上 トシエ (大河原町)
家登 諒子 (丸森町) 香川 和枝 (涌谷町)

高齢者交通安全ふれあい世帯訪問事業

新型コロナウイルスの感染状況が一旦落ち着いた10月25日、「高齢者交通安全ふれあい世帯訪問」を実施しました。私たち仙台中央地区交通安全母の会亀岡支部が活動する地域は、戸建の住宅に住む高齢者が多い町です。今回も駐在所の警察官の方とともに世帯訪問をして、交通事故に遭わない、遭わせないようにチラシで説明しました。交通安全グッズを渡し、「外出するときは靴にもカバンにも反射材をつけて出かけてね」と言いながら、高齢者の靴に反射材を貼りました。また、「オレオレ詐欺も年々巧妙になっているので十分気をつけてね」と防犯についても呼び掛けました。



全国の交通事故死者数の6割近くが高齢者と聞けばますます関わりを深くしなくてはならないと思います。私たち母の会は「交通安全は茶の間から」を合言葉に、事故のない安全安心な地域を目指しています。皆様、新型コロナには十分気をつけつつ、一緒に高齢者の事故防止のために頑張っていきましょう。

(仙台中央地区交通安全母の会 鈴木恒子)



配布した交通安全グッズ

東北ブロック 交通ボランティア等講習会



塩竈市役所の会議室にてオンライン参加

内閣府主催の東北ブロック交通ボランティア等講習会は、令和2年度開催予定だった宮城県は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりましたが、今年度は、福島県が開催地となり、11月18日午前10時から午後4時25分という日程で急遽、オンラインでの開催となりました。当初、本会母の会連合会を代表し、佐々木が発表予定でしたので、塩竈市役所のオンライン室をお借りし、映像機械等の操作を母の会事務局の佐々木主事の指導を受けながらの発表となりました。

午前の部は東京都市大学都市工学科准教授稲垣具志先生から、子どもの道路横断の判断能力と交通安全教育における家庭・地域の役割について、次に千葉大学名誉教授鈴木春男先生から、高齢者に対する交酒安全の動機づけについてと、お二人の講演があり、大変興味深く勉強になりました。午後の部は、宮城、青森、秋田、山形の4県の活動発表に入り、宮城県からは塩竈市交通安全母の会の年間を通じた実践活動を紹介しました。お互いに意見交換会を行い、最後に主催者側から講評をいただき閉会となりました。初めてのオンラインでの発表でしたが、この体験を今後の実践活動に生かしていきたいと思ひます。

(会長 佐々木和恵)

内閣府主催の東北ブロック交通ボランティア等講習会は、令和2年度開催予定だった宮城県は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりましたが、今年度は、福島県が開催地となり、11月18日午前10時から午後4時25分という日程で急遽、オンラインでの開催となりました。当初、本会母の会連合会を代表し、佐々木が発表予定でしたので、塩竈市役所のオンライン室をお借りし、映像機械等の操作を母の会事務局の佐々木主事の指導を受けながらの発表となりました。



塩竈市交通安全母の会の活動発表

リーダー研修会

令和4年1月7日(金) 宮城県自治会館において県連主催のリーダー研修会が開催されました。昨今のコロナ禍の中で各地区交通安全母の会は知恵を出し合い工夫しながら交通安全活動を展開しております。研修会では県内4地区から活動発表が行われました。それぞれに創意工夫をしながら活動を実践しており、それを知る大変良い機会でした。また、宮城県警察本部からの



各地区連から代表が活動発表

交通事故発生状況

令和3年中の県内の交通事故発生状況は、発生件数及び負傷者数はいずれも前年から減少しました。しかし、65歳以上の高齢者の交通事故死者は24人で、前年比4人増となり、交通事故死者全体(42人)に占める割合が5割を超え、極めて憂慮すべき状況となっています。

【交通事故発生状況】

(単位:件、人)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者			
		件数	死者数	重症	軽傷	計	
令和3年	4,286	42	42	484	4,698	5,182	
令和2年	4,487	44	44	483	5,000	5,483	
増減	数	-201	-2	-2	1	-302	-301
	率	-4.5	-4.5	-4.5	0.2	-6.0	-5.5

交通安全講話によりますと、令和3年中の県内の交通事故死者の半分以上が高齢者とのことでした。人生の大先輩方へ末永く充実した人生を送っていただくためにも、私たち母の会が行っている豊(高)齢者に対する交通安全啓発がいかに重要であるかを実感することができました。今回のリーダー研修会で学んだことを参考に、コロナ禍における母の会活動を更に充実させていきたいと思ひます。



コロナ禍の中、45人が参加した

研修会の開会前には会場内で「交通安全母の会の歌」がBGMとして流れていました。配られた歌詞には「身命二つなし」「命を生んだものは誰 守りはぐくむものは誰」とあります。交通事故は時に命を落とすこともあります。一方で起こした側も一生の重荷を背負うことにもなります。私たちが生み育てた子供、大切な家族に、そのような辛く悲しい思いをさせないためにも、私たちの母の会活動により交通安全の輪を大きく広げて交通事故を減らし、悲惨な交通死亡事故はゼロを目指していきたく思ひます。

(登米市石越地区交通安全母の会 金澤いく子)

飲酒運転根絶啓発活動紹介

12月1日は、大崎・栗原地区統一の「飲酒運転根絶キャンペーンの日」となっており、涌谷町でも町内の大型スーパー2店舗に御協力をいただき役員25人で実施しました。コロナ禍であることから感染拡大防止対策を万全にし、買い物客に対し、チラシ入のマスクセットと、併せて夜間の事故防止を図るため、反射材キーホルダーを配りながら「飲酒運転はしない!させない!許さない!」を呼び掛けました。その際、遠田警察署や遠田地区交通安全協会の皆様にも御協力をいただき、地域が一体となって推進しました。



飲酒運転根絶を呼び掛け

交通安全啓発活動の成果で、近年は交通事故件数が減少傾向であるとのことですが、依然として飲酒運転等の悪質な交通事故や交通違反が後を絶たないのは、悲しい現状です。特に、年末年始は飲酒の機会が多くなります。飲酒運転は凶悪な犯罪です。少しの気の緩みで…「命」「家族」「仕事」「社会的信用」など失うものは計り知れません。



お年寄りには夜間の事故防止を…

「我が町から飲酒運転根絶!今日も無事故で安全安心な涌谷町」を目指し、これからは「交通安全は茶の間から」を合い言葉に交通安全の一助になるよう活動を続けていきたいと思ひます。

(涌谷町婦人防火交通安全クラブ連合会 勝又ふみ)

母の会活動紹介 (仙台地区)

名取市交通安全母の会

「設立45周年記念式典事業開催する」

お陰様で当会も設立45周年を迎え、令和3年11月26日、名取市文化会館にて役員・代議員約70人が参集し、記念

式典を開催しました。会員皆様の郷土愛に燃え、母の会への限りない奉仕と忍耐の精神をもって御支援・御協力の賜物と感謝しております。来賓には名取市長・市議会議員・岩沼警察署長の御臨席を賜り、御祝辞を頂戴しました。会長からは設立総会当日の様子や、春秋の全国総ぐるみ運動の出発式の会場の変遷や活動資金集めのため、商店へ出向いたことなど、今日に進化するまでの苦労話等もあり、45年間を振り返ることが出来ました。記念品は紅白大福・手作巾着等。記念講演は「感染予防と口腔ケア～笑いは心の万能薬～」という表題で日本笑い学会会員・方言を語り残そう会代表の伊藤恵子様の講演で、会場は大いに笑いで満ち溢れた講演でした。



伊藤恵子さんの講演に会場は笑いの渦

また、当会は8地区で構成されており出発式には市長から母の会へ託されたメッセージ等を届け、入学式には地区代表が列席し啓発にも余念がありません。コロナ禍でありながらも、開催出来たこと。事務局の御尽力にも感謝に絶えません。

当会の益々の発展を祈念し、またこのような素晴らしい式典が開催できるよう、母の会一同交通事故のない安全・安心な市として、活動していくことを、再確認した一日でした。



式典終了後にスタッフ揃って記念撮影

(名取市交通安全母の会 佐藤美代子)

地区連協議会活動紹介

仙台地区連絡協議会

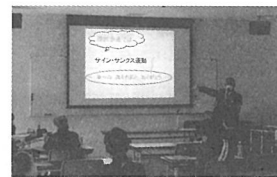


会員等29人が参加した仙台地区連研修会

令和3年11月11日、塩竈市魚市場管理事務所中央棟2階大会議室において研修会を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大で中止となりましたが、今回は、3密を避け、検温、除菌、マスク着用と感染対策をしっかりと行い、研修会の開催時間も午前で終了とし、参加者も各地区から3人以内に絞り、会員18人、事務局職員10人、講師の塩釜警察署交通課長様と合わせて29人の参加で開催しました。

当会の益々の発展を祈念し、またこのような素晴らしい式典が開催できるよう、母の会一同交通事故のない安全・安心な市として、活動していくことを、再確認した一日でした。

塩竈市市民生活課の佐々木主事の進行で会長挨拶、講師紹介で始まり、次に平成15年から新しく母の会が立ち上げた中から保育所での紙芝居や腹話、祭りや繁華街での飲酒運転根絶活動、国道45号線で夕暮れ時の活動、塩釜高校生の早朝自転車マナーアップ指導等、高校生の交通安全委員のメンバーと協働での活動を発表しました。



塩釜警察署長田交通課長による交通安全講話

続きまして、塩釜警察署交通課長長田彰男様より御講話を賜り、県内・管内の交通事故発生状況と高齢者の死亡事故の特徴など詳しく分析してお話をいただき、活動の参考になる内容で充実した研修となりました。

最後は、若林地区の原谷道子会長から講評を含めた閉会の挨拶があり、12時15分に解散となりました。

(仙台地区連絡協議会 佐々木和恵)

仙南地区連絡協議会

仙南地区連絡協議会は2市8町により構成されております。

当協議会も県内の地区協議会と同様に、例年、交通安全意識高揚の会員研修会や、仙南地区管内の大型商業施設での交通安全啓発活動、更に各市町独自の交通安全啓発運動を実施しております。

コロナ禍により、令和2年度から地区連絡協議会としての大きな活動ができていないのが現状ですが、このような中において、各市町独自の啓発活動や、交通安全運動期間中に行政区ごとなどでの街頭指導を実施している状況です。

当協議会としては令和2年度に、『運転中 携帯電話の使用禁止』の標語を入れた大きな横断幕を作成し、各市町の交通量の多い通りなどの目立つ場所に掲げるなどして啓発活動を実施しました。

昨年の秋頃には、国内のコロナ感染症は確実に収束に向かっておりましたが、令和4年1月現在、オミクロン変異株による感染再拡大状況にあります。活動を自粛していた



横断幕の掲出② ～車窓に向けて～

この2年の間、行事や活動の在り方について、色々と考えさせられました。

令和4年度こそは、当協議会ばかりでなく、全ての団体の事業や活動が円滑に行えることを願うばかりです。

(蔵王町交通安全母の会連合会 佐藤由紀子)

春の交通安全県民総ぐるみ運動

期間 令和4年4月6日(水)から4月15日(金)までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(日)

- 運動の重点
- (1) 子供を始めとする歩行者の安全確保
 - (2) 歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上
 - (3) 交通ルール遵守の徹底と安全確保



大崎・栗原地区連絡協議会

令和2・3年と新型コロナウイルスの影響で多くの活動が制限される中、マスクをしながら、春と秋には「交通事故死亡ゼロを目指し」交通安全街頭指導を行いました。



交通事故死ゼロを目指す日

全国的に高齢ドライバーが増えています。特に田舎では車が移動の必需品であり、いつでも運転しなければならない状況にあります。1日も早く、公共の足の確保が望まれる所です。



交通安全母の会大崎・栗原地区統一飲酒運転根絶キャンペーン

大崎・栗原地区連絡協議会での交通安全啓発活動事業の取り組みとして『飲酒運転根絶』キャンペーンを行いました。我が色麻町では加美町と合同で11月30日、イオン店頭においてマスクとチラシを配布し、飲酒運転根絶を呼び掛けました。買い物に来る方々は女性が大部分で男性が少なかったですが、「交通安全は茶の間から」。女性の皆様が家庭に帰って、交通安全意識を高めていただけることを期待しました。

まだまだコロナ禍の状況は続くと思いますが、今私達ができることを一つずつ実行していく組織で有りたいと思います。

(色麻町交通安全母の会 佐々木伸子)

登米・本吉地区連絡協議会



気仙沼警察署本間交通課長の講話

令和3年11月30日、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館において、登米・本吉地区連絡協議会の研修会を開催しました。コロナ禍ということもあり規模は縮小しましたが、登米市、気仙沼市の母の会が連携して活動する事は久しぶりで、各々、母の会が、地域の特色を生かした街頭キャンペーンや啓発活動を行える日が一日も早く来る事を願います。

研修では、気仙沼警察署の本間交通課長より「気仙沼市の交通情勢について」と題した講話を頂き、事故はどんな時に起こりやすいか、未然に防止するにはどんな所に注意が必要か、事例を挙げて説明していただきました。

また、気仙沼市では飲酒運転も発生しており、市民一人ひとりの意識改革と根絶に向けた取組の必要性も強く語られました。

意見交換会では登米地区交通安全母の会の活動紹介と気仙沼市の母の会の取組事例が発表され、今後の活動に向けて意見交換を行いました。

研修後は、伝承館を見学し、当時の現実を映像、展示物などで目の当たりにし、東日本大震災を決して忘れないとの思いを強くしました。私達、母の会の日々の活動は地道なものですが、「交通安全は茶間から」です。

(登米市東和地区交通安全母の会 熊谷安子)



気仙沼市東日本大震災機構・伝承館前で記念撮影

石巻地区連絡協議会

石巻市交通安全母の会では、令和3年度も交通事故を減らすために、様々な活動を行ってきました。

近年、高齢化の進展に伴い、高齢者・高齢運転者の交通事故が増加して

いることから、10月から市内の高齢者世帯を訪問し、チラシ入りマスクを配布して交通安全の呼び掛けを行っています。また、12月上旬に行った「視察研修」では、市内の新規道路・施設を見学し、交通状況や新しい道路が整備された目的などを確認することで、今後の活動に役立てるヒントを得ることができました。同月中旬には、飲酒の機会が増える忘年会シーズンに向けて、国道沿いの商業店舗前で飲酒運転根絶キャンペーン活動(チラシ・啓発グッズの配布、呼び掛け等)を実施し、飲酒運転の撲滅を図りました。



視察研修(石巻南浜津波復興祈念公園)



年末の飲酒運転根絶キャンペーン(ヨークベニマル蛇田店・ホームマック石巻蛇田店)

交通事故は、被害者や加害者のみならず、その家族までも一瞬にして不幸にするものです。「交通安全は茶の間から」を合言葉に、家庭や地域における交通安全思想の普及・啓発活動を行い、交通事故のない明るい社会を目指して引き続き活動していきたいと思ひます。

(石巻市交通安全母の会 堀川恵美子)

第29回 セーフティ123キャンペーン

あなたもチャレンジ! 無事故無違反「セーフティ123」は、3人チームで参加し、123日間の無事故無違反を目指し、交通安全意識の向上を図ることを目的に実施しているキャンペーンです。

無事故無違反達成チームには、抽選で素敵な賞品が当たりますので、職場の仲間、家族、友達、ご近所さん等でふるって参加しましょう。

- 募集期間 令和4年5月1日～令和4年6月14日
- チャレンジ期間 令和4年6月15日～令和4年10月15日(123日間)



お問い合わせ

みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会事務局(宮城県企画部地域交通政策課内)
TEL:022-211-2438